



NPO法人 堺観光ボランティア協会ニュース

4月号(通算251号)
2018年(平成30年)4月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町エビル4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://www.nposakai.org>

明治150年！！ 文化財特別公開で堺を満喫

今年は明治150年に当たります。平成30年春季堺文化財特別公開は、その明治150年と春爛漫の堺に焦点をあて、4月5日(木)から8日(日)までの4日間開催されます。テーマはズバリ「明治150年！サクラ咲く堺を満喫」です。

協会ニュースで、ひと足お先にご紹介です。

慶応4年
(1868)堺事
件で切腹し
た、土佐藩士
の墓石があ
る宝珠院は、
歴史を語り



伝える遺跡として国の史跡に指定されています。

この期間中には、当協会員が土佐十一烈士墓をご案内致します。その切腹の場となった妙國寺では、4日間庭園がライトアップされ、桜と蘇鉄の競演が実に見事です。

さて、今回初公開の方違神社では、平成25年に斎行された伊勢神宮の式年遷宮の古材の一部を譲り受け、造営された本殿が公開されます。

明治元年(1868)9月20日、東京遷都にあたり、明治天皇が京都を出発し東京に向かわれる折、無事を祈念し17日間祈祷されました。また境内の鳥居、石碑、玉垣には、酒造家であり阪堺鉄道の敷設や堺貯蓄銀行設立など、堺の発展に寄与した鳥井駒吉・宅徳平の足跡がみられます。同時に新築された客殿では、「茶々の会」の呈茶で盛り上げ、皆様に楽しんでいただけます。

明治43年に建設された旧天王貯水池は、ヴォールト架構で、堺製の煉瓦が使われていると考えられています。昭和39年まで堺市民に飲料水

を提供し、そのデザインと施工技術の優秀さは評価が高く、国の登録文化財になっています。



明治天皇は、2度堺に行幸されています。時は、明治10年2月13日、明治天皇は西南の役をめぐる情勢が混沌とする中、午前中に熊野小學校で幼児教育の現場を、午後、堺県庁や堺紡績所などを視察され、その夜、河盛仁平宅で御前会議が開かれました。今回は熊野小學校に保管されている明治天皇玉座が公開されます。

玉座記念館は、昭和20年の堺大空襲をかわりて逃れたのです。明治天皇はその日、西本願寺堺別院に置かれた堺県庁も視察されました。

堺別院は、現存する堺最大の木造建築物で、明治4年から10年間、堺県庁が置かれていました。この度、明治天皇勅語が初公開されます。

大河ドラマ「西郷どん」の薩摩藩・島津家の祈願所である本源院では、7年ぶりに釈迦涅槃像一幀・釈迦八相図二幀が公開されます。織田信長と信忠父子の供養塔や、趙陶斎の墓がある事でも知られています。その本源院から明治元年に鐘楼が移された南宗寺では、女流南画家・中村餘容の方丈の襖絵が公開されます。この襖絵を背にして枯山水に向かい、三好一族の栄光に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

大仙公園では、千本を超す様々な桜が皆様をお迎えする事でしょう。その公園内に、棟梁として天下一と言われた、仰木魯堂が粹をこらして建てた茶室伸庵。ミニガイドツアーもサクラ咲く堺を網羅します。それでは皆様、「堺の明治150年」をお楽しみ頂けますよう、準備万端でお待ちしております。

(木村 義穂 記)

☆ 語り継ごう「堺事件から150年」

【 呉竹 正 】

2018年(平成30年)2月23日午後13:00～16:30、旧皇室勅願寺の妙國寺において「堺事件から150年記念式典」が開催されました。参加者はご遺族9名、ご招待客26名、一般参加者95名、語り継ぐ会登録会員70名、合計200名に加えて、お寺さん約30名が加わっての盛大な式典となりました。



13時から約1時間の法要とお焼香の後、妙國寺岡部貫首の法話。語り継ぐ会吉田代表の挨拶。ご来賓の堺市長が議会・本会議のため名代として藤田観光部長の挨拶、高知県大阪事務所の濱渦所長の挨拶の後、在京都フランス総領事館ジャン・マチュー ボネル総領事のメッセージを西野さんが代読した後、川上理事長の挨拶。ご来賓の紹介、司会進行は「語り継ぐ会」の戒田さんと西野さんが務めました。

本堂での式典終了後、皆さんに客殿に移動していただき、第二部は四代目旭堂南陵師匠の講談「堺事件と五代友厚」という最新作を30分間、熱く語っていただきました。

引き続き、NPO法人堺観光ボランティア協会の華美芝居部隊による「堺事件レクイエム」は15分間でしたが、音響効果なども入って、観衆の涙を誘う熱演でした。



最後に本日のお礼と総括を吉田代表が20分でまとめた後、3名の観光ボランティアガイドが3班に分かれて、宝珠院の墓参と妙國寺境内の佛国殉難の碑、堺事件から100年の時の河盛市長が建てられた土佐十一烈士の碑と、西村佐平次のお孫さん寄贈の植樹記念碑などをご案内して午後4時半ごろ散会しました。



当日お越しいただいた皆様に紙面をお借りして感謝申しあげますとともに、何より会場となりました妙國寺貫首様はじめ、式典を取り仕切って頂いた沢山のお寺様、宝珠院の関係者の皆様ありがとうございました。

そして、受付からお席への案内などのほか、当日までに何度も会合を重ね、いろいろと準備していただいたメンバーのみなさん大変お疲れ様でした。

「堺事件を語り継ぐ会」は、今年のような盛大な式典は無理ですが、来年以降も法要と講演は続けていきます。この秋には神戸の外国人墓地へ

の墓参も予定しています。

今後ともよろしくお願いいたします。

* 4月号 インデックス (目次)

春季堺文化財公開にむけて	P 1	広報部	P 1 8
語り継ごう「堺事件から150年」	2	インフォメーション	1 8
<各部ニュース>		施設・店舗の休館(休業)日	1 9
事務局・総務部	3	トピックス・「大久保利通日記」	2 0
研修部	4	トピックス・「家康・伊賀越え」	2 1
事業部	4	トピックス・「天王寺屋と堺」	2 2
ツアーガイド部	5	あ・ら・かると	2 3
・2月ガイド実施報告	7	写真ニュース	2 4
企画部	1 5	【4月度月間予定表】	2 5
定点ガイド部	1 6	平成30年3月 活動実績と内容	2 6

事務局ニュース

◎運営会議報告

*理事長報告

① 前事務所を置いていたビルの跡地

跡地には、12階建てのA Bホテル堺東が2019年10月に開業予定です。2階から上は客室125室、シングルルーム中心のビジネスホテルです。一階はカフェや、イベントとして貸し出すスペースになる予定です。

② 南宗寺南側の濠の内側の整備済の空地について。

五者懇談会で話題になった「南宗寺の濠沿いの道路」についての、所管は河川水路課です。

「河川の管理用通路として整備したもので、観光等を考えて、今後、何かをするという予定は、いまのところ考えていません。」とのこと。

◇ 各部門からの連絡・報告事項

各部門からのニュースを、参照願います。

総務部ニュース

* 会員の状況

2月末に正会員の神楽千賀子さん（平成24年入会）が、3月は、田中康乃さん（平成14年入会）、倉田豊子（平成16年入会）、荒山幸子さん（平成19年入会）、仲田孝一さん（平成22年入会）、河井とし子さん（平成25年入会）、伊藤裕康さん（平成26年入会）、平方秀行さん（平成27年入会）、吉岡陽子さん（平成28年入会）が、賛助会員の加地秋好さん（平成19年入会）、高田英行さん（平成23年入会）が退会されました。4月1日現在の正会員数は234名、賛助会員数は14名です。

平成12年入会の小山久枝さんが3月23日に亡くなりました。来月の協会ニュースに追悼の記事を掲載させていただきます。

* 平成30年春季特別公開の配置表とこの期間の定点配置時間の連絡

- ・ 春季特別公開の配置表の最終版を同封します。
- ・ 春季特別公開の期間は、南宗寺、山口家、清学院の定点配置については、特別公開と同じ活動時間となりますので注意をお願いします。

午前：9時15分～13時15分、午後：13時～16時45分となります。

- ・ 春季特別公開期間は、午前と午後を通して配置に入っただけの方には、特別公開配置者及び定点配置者も共に昼食を支給します。

* 「5月活動予定表」の活動欄に◎印を追加します

「5月活動予定表」の活動欄に従来の“○”に加えて、定点配置でもツアーガイドでもどちらでもOKの“◎”印を記入していただく事になりました。ぜひ積極的に意思表示をお願いします。

* ガイドお客さま数200万人達成記念品の配布

平成30年1月にガイドお客さま数が200万人を達成しました。会員のみなさまのたゆまぬ努力の賜です。このご努力とご協力に感謝して会員に“シェーズ券”を配布することになりました。配布の時期は、後日連絡致します。

* 当協会の「第11回通常総会」の予告

6月6日（水）午後2時から、堺市総合福祉会館で開催します。

会員の方は出席をお願いします。なお、案内状は5月20日ごろに発送します。

研修部ニュース*** 29 年度第 2 回全体研修会**

3月28日(水) 午前及び3月30日(金) 午後の2回、本年度第2回目の全体研修会を開催しました。演題は「戦国期 堺人物伝 -牡丹花肖伯を中心に-」と題して元堺博物館学芸課長・吉田豊さまに講演して頂きました。参加人数は28日が52名、30日が53名でした。

*** 30 年度第 1 回一般常識全体研修会（予告）**

29年度のキャップハンディ研修に引き続き30年度は「AED及び防災に関する研修」を堺市消防局のご協力を得て実施する予定です。

日程は5月16日、14時から福祉会館で。定員は会場の都合で50名です。

詳細は協会ニュース4月号に同封します。

参加希望者は5月度活動予定表の各種行事予定表欄に○印を記入してください。

事業部ニュース*** 「三好長慶公武者行列」 in 大東に応援参陣しました**

3月3日(土) 大東市で開催された「三好長慶公武者行列」の応援に、当協会員6名の甲冑武者が参陣しました。大東市民や他市の三好関連の応援隊の武者行列で、大いに盛り上げました。

☆ 「三好長慶公武者行列 in 大東」に参陣**【梶原 俊昭】**

3月3日朝8時前、晴天の日を浴びて堺山之口商店街を出発。無事大東市いいもりプラザの会場に到着後、事業部メンバーの着付け指導の下、昔の美男美女(?)武者に変身。オープニングイベントの後、各参加部隊を紹介する中で私達「堺三好元長隊」小川正夫隊長の勝ち鬨には会場内の参加者の皆さんが唱和して盛り上げて下さいました。

晴れやかに出陣式を終えて大東市市長を先頭に地元の部隊や各地からの応援部隊を含め400名以上の武者行列が出発。約2000名の地元の皆さん達「沿道応援隊」の声援を受けるなか、野崎参道商店街まで来ると5・6歳の女の子が手を上げてハイタッチで歓迎してくれました。14時過ぎに会場に戻り、閉会式の後、無事堺に帰陣。参加者全員「良い天気です。楽しい1日だったね!」と参陣の疲れも見せず、満足気でした。

大東市には市役所前に平成29年10月、大東ロータリークラブから三好長慶公の銅像が寄贈され、市長の計らいで、なんと、この銅像の三好長慶公は大東市の「特別住民」に認定、ちゃんと住民票も発行されているそうです。粋な計らいと遊び心、三好のネットワークがますます面白いことになって来そうです。

*** さかい利晶の杜 開館3周年企画 文化講話対談「天王寺屋と堺」が開催されました**

3月11日(日)13時から、さかい利晶の杜の三千家茶室広間にて、大徳寺龍光院 小堀月浦住職をお招きしての記念講演会が行われ、定員80名を超す方が熱心に聴講されました。当日は龍光院御好 茶名「大通庵」の呈茶も召し上がって頂きました。

本企画は、2022年の利休生誕500年に向けての歴史文化活動を応援する、当協会活動の一貫で企画プロデュースを担当しました。

*** 「山之口商店街スプリング・フェスタ」が開催されました**

- ・3月18日(日)10:00～ 山之口商店街スプリング・フェスタが開催され、大勢の方で賑わいました。華美芝居を楽しんで頂き、市長のご挨拶の前座で古墳ダンスも披露しました。

***「リンクスクエア18」が開催されました**

- ・3月21日（水・祝）10:00～ 市民交流広場Mina さかいを会場に「リンクスクエア18—堺伝統産業の集い—」が開催されました。参加者に陣羽織を着て貰って（着付け&ガイド資料費 500 円）を、市民交流広場から山之口商店街まで歩きながらのミニガイドで催しを大いに盛り上げました。

***「春季堺文化財特別公開」が開催されます**

- ・春季堺文化財特別公開が、4月5日（木）～8日（日）に、開催されます。
今春のテーマは「明治150年！サクラ咲く堺を満喫」初公開は、方違神社です。明治天皇玉座記念館、旧天王貯水池の他が公開場所です。万全の体制で、お客様をお迎えしましょう！
文化財特別公開責任者報告会を4月27日（金）14時から堺市総合福祉会館第1会議室で開きます。

***各プロジェクトの活動**

- ・**イベント工房** … 道明寺まちづくり協議会へ、「道明寺まつり」に使われる菅原道真公の衣装を制作依頼され、このほど完成しました。
- ・**華美芝居 PJT** … 3月5日（月）に日置荘西町東部会館、18日（日）に山之口商店街、21日（水・祝）に市民交流広場にて、公演しました。
4月以降も、公演依頼が多数あります。
- ・**JA情報誌【CROP】** … 4月号は「中区大野芝」、5月号は「北区長曾根町」です。
*「スケッチ集」を、観ボラ・オフィスで好評販売中です。
- ・**「堺おもしろ話 其の弐」が完成しました**
*好評のうちに在庫品切れとなった「堺おもしろ話 其の壱」に続き、当協会案内人数200万人突破記念として、「堺おもしろ話 其の弐」が完成しました。
「巨勢金岡」や「陶器七不思議」など堺に残るおもしろ話が、繰り広げられています。

ツアーガイド部ニュース***26期生対象「ツアーガイドの為のまち歩き勉強会②」を実施しました**

2月20日（火）は、天候に恵まれた勉強会となりました。旧市街北部には本願寺堺別院・妙國寺をはじめ大きな寺院が多数在り、その壮麗な姿に新会員の皆さんは「初めて見た！」と驚いた様子でした。折しも妙國寺は「堺事件から150年」記念式典の準備で、広間も応接室も障子を取り払われ、お庭が一目で見渡せる機会に恵まれました。妙國寺では小出会員が、全体は西本会員が講師でした。参加者は26期生9名とその他6名でした。

***タクシー観光の研修を実施しました**

2月24日（土）、恒例のタクシードライバーさんの堺観光について研修を行いました。今回は第一交通グループのドライバーさん達が対象でした。午前中は堺の観光についての座学で、午後からはガイドが同乗して、古墳を中心に事前に出題されていた観光スポットを回りました。皆さん大変熱心に取り組んで頂いて、こちらも力が入りました。ドライバーさんの参加は35名でした。

***阪堺線勉強会を実施しました**

2月27日（火）の阪堺線の勉強会は、浜寺昭和町界隈の散策の後、阪堺線で移動し、神明町のチン電の会会長の榎福井さんの会議室をお借りして、「阪堺線の基礎知識」を学びました。

阪堺線は、大阪府で唯一の路面電車で、堺の大切な観光資源だということで、皆さんはとても熱心にお話を聞いて頂き、ツアーガイドに役に立つ勉強会でした。講師はチン電の会井溪 明さんと、同会幹事 野木義弘さんでした。参加者24名でした。

*** ぐるっと堺勉強会を実施しました**

3月1日(木)と6日(火)に、実施しました。日頃あまり行くことのない美原と泉北方面の勉強会でした。コースは、美原の法雲寺、みはら歴史博物館、土塔、ハーベストの丘、法道寺、櫻井神社、両日とも天候に恵まれて、それぞれのお寺や神社では、住職さんや宮司さんにお話をしたり、みはら歴史博物館では、学芸員の方から説明を受けました。車中では、先輩から色々とガイドに関するアドバイスを受けました。堺には旧市街とはまた違った文化があることも再確認しました。参加者は両日合わせて50名でした。

*** VR体験ツアーが4月1日から変更になります**

昨年8月から開始しましたVR体験ツアー、参加のお客さまには大変好評を得ております。4月からは、①VR体験ツアーの時間が変更になります。②団体に限り「VRツアーとさかい利品の杜」セット券が販売されます。③体験年齢が7歳からになります。

今月のニュース同封の「VRの運営について」に詳しく説明されています。引き続き各定点でVRツアーへのお誘いをして頂きますよう、よろしくお願いします。

*** 5月企画ツアー「浜寺公園駅舎見学とバラ園探訪」を実施します**

今年も、駅舎見学と専門ガイドによるバラ園の探訪を実施します。

日時：5月25日(金) 10:00～12:30

集合場所：南海本線浜寺公園駅西改札口又は、阪堺線浜寺駅前

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

*** 自転車ガイド研修会を実施しました**

3月13日(火)の午前と午後に、実施しました。自転車ガイドマニュアルの確認と、交通ルールの講義を受け、その後、古墳周辺の実走をしました。古墳巡りには、自転車が便利だと思いました。今回研修に参加された方には、今後、自転車ガイドをお願いしたいと思います。

講師は中村博司会員でした。参加者は14名でした。

*** 「自転車ツアーガイド勉強会(自転車ガイド養成講座)」に参加しました****[住谷多喜男]**

去る3月13日(火)に「自転車ツアーガイド勉強会(自転車ガイド養成講座)」に参加しました。同日は午前・午後の2回に分けて行われ、私は午前で受講者は8名でした。

大仙公園に隣接の「花と緑の交流館」に集合し、定点ガイド部自転車ガイド担当の中村会員による座学と公園近辺で自転車を連ねての路上講習でした。座学では、堺における自転車の位置づけ(地場産業であり、古墳めぐりに最適)、自転車に係る交通ルール(案外思い違いがある)、自転車の点検要領、自転車ガイドマニュアルなどについて、要所を押さえた講義をしていただきました。路上講習では、履中天皇陵古墳から百舌鳥八幡宮・ニサンザイ古墳をめぐるコースを、中村会員を先頭に9名が隊列を組んで実際に走行し(黄備えの銀輪隊)、注意事項や引率の要領を学びました。信号の無い「止まれ」表示のある交差点では、ガイド自らが交差点の中央に立ち、一行が横断しきるまで他の交通を止めることを実習しました。「身を盾にして」です。

当日は全くの晴天で、走っていてすごく爽快でした。安全に気を使わねばならないガイドですが、こんな楽しい観光ならお客様もきっと満足されます。堺の誇れる地場産業であるこ

**点検要領の指導**

とと古墳探索に最適なツアーであることを合体させて、自転車ツアーガイドが堺観光の特長的なものになるべきと思いました。

* 市役所展望ロビーでの小学生社会見学案内の研修を行います

堺の市立小学校は、現在 93 校ありますが、多くの小学校の 3 年生が社会見学のために、市役所の展望ロビーに来られます。その時の案内の研修を行います。

今回は、25 期～27 期を対象に行いますが、復習をしたい方、見学の案内を希望される方は、他の期の方でもご参加下さい。いずれかの時間に参加して下さい。約 1 時間の予定です。

日時：4 月 24 日（火）14：00～ 4 月 26 日（木）10：00～・14：00～

集合場所：堺市役所 展望ロビー

※ 参加希望者は、4 月 15 日までにメールでお申し込み下さい。[sakaikanbo@joy.ocn.ne.jp]

☆ 30-2 月ガイド実施報告(敬称略)

1 月のツアーガイドの総件数は 75 件、ご案内したお客様数は 1863 名、派遣ガイド数は 119 名です。

★2/1 木 13:50-15:40 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 37 名(観光バス)

展望ロビー・利晶の杜

ガイド：宮尾・松本潤

【一言】ミステリーツアーに東京からのお客様。堺に来る事をご存知なく少々戸惑っておられました。当然堺についての下知識もないまま案内を聞いて頂きました。それが却って良かったのか、興味津々の様子でした。

★2/2 木 9:00-12:30 アーバンインフラテクノロジー推進会議 19 名(マイクロバス)

展望ロビー・仁徳陵・泉ヶ丘駅前地域・近大病院予定地・多治速比売神社・泉ヶ丘緑道・

宮山台近隣センター・エコタウン

ガイド：川上浩・木村義

【一言】アーバンインフラを手掛けている全国からの市職員に、堺のニュータウンの再生を含めて古墳や神社のご案内。緑道をハイキングした後の職員の説明が役に立ちました。時間があつたのでエコタウン見学を提案して、ご案内しました。

★2/2 金 10:00-15:30 大阪府高齢者大学校 8 名(徒歩)

展望ロビー・山之口商店街・開口神社・晶子生家跡・利晶の杜・利休屋敷跡・木曽路・

武野紹鴎屋敷跡・妙法寺・南宗寺・かん袋

ガイド：中村博

【一言】高齢者大学で勉強され、観光ボランティア活動にも関心が高く、大変熱心に聞いて頂き気持ち良く案内できました。お客様と意気投合する初めての経験になりました。

★2/3 土 10:30-12:00 KNT 関西 竹内街道・横大路モーターツアー 13 名(定点)

金岡神社

ガイド：川上浩

【一言】モーターツアーの観光バスを待ち受けて、金岡神社のみを案内。かなり詳しく広範囲にご案内。歴史好きにはよいですが、大学生たちには興味が沸いたかどうか疑問です。

★2/4 日 10:30-12:30 (公社)堺コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり 9 名(徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グランドパーク古墳・

孫太夫山古墳・仁徳陵

ガイド：林茂

【一言】厳寒の中、神戸、木津川、城陽、泉南からそれぞれ 1 名、住吉から女性 2 名と大阪市内の親子 3 名の参加でした。皆さん最近古墳に興味を持ち始めた方々で同じ様に説明が出来ました。寒風の中、和気あいあい 2 時間の古墳巡りを楽しみました。

★2/4 日 10:00-15:50 日の丸観光バス 歩け歩け運動 47名(観光バス)

展望ロビー・カミ・博物館・履中陵ビュースポット・仁徳陵・伝産会館
ガイド：土山・川上由・宇野万(研修)

【一言】予定より早い到着で、市役所の展望ロビーをじっくり案内しました。午後の博物館ではVR体験ツアーを喜んで頂きました。お客様との会話の中で世界文化遺産登録への応援や観光への労いのお言葉を聞き嬉しかったです。

★2/4 日 10:00-16:30 竹内朝子様 3名(徒歩)

Sakainoma 錦・本願寺堺別院・妙國寺・宝珠院・方違神社・旧天王貯水池・熊野小学校・展望ロビー
ガイド：川上浩

【一言】明治150年を訪ねるツアー。遠方から2泊でお越し頂きました。錦の高級民泊でリエンションをしてから出発。ユックリと観光出来ました。知識欲抜群の皆様と一緒に、「あーでもない、こーでもない」と会話しながらの一日でした。五代友厚伝が受けました。

★2/6 火 9:30-16:00 (公社)堺コンベンション協会 百舌鳥古墳めぐり 5名(徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵ビュースポット・平成の森・大仙公園・カフェロハ・仁徳陵・博物館
ガイド：樽野

【一言】堺観光コンベンション協会のHPの古墳めぐり頁作成に、カメラマン・ライターさんなどといっしょに古墳めぐり。晴れてはいましたが強風で気温は低かったのですが、熱心に案内を聞き質問も沢山ありましたので古墳ガイドとしては最高の一日になりました。

★2/9 金 12:40-15:05 名鉄観光サービス高松 マリソエーブカルチャー 18名(マイクロバス)

利晶の杜・展望ロビー・伝産会館
ガイド：大橋・久野(研修)

【一言】毎月日帰り旅行をされている三豊市の歴史に詳しいお客様。堺は2回目の方もおられ親しみを感じました。家に四畳台目の茶室のある裏千家の先生もおられ利休の茶の湯館に満足されていました。多くの方から市役所でのバス誘導の親切さに好評価を得ました。

★2/9 金 10:00-11:30 高石市東羽衣民生委員 13名(徒歩)

利晶の杜・利休屋敷跡
ガイド：川辺

【一言】先に「南海庵」にて裏千家のお点前で抹茶を味わってからの案内でした。和やかな雰囲気の皆様。短い時間でしたが説明には熱心に耳を傾けて下さいました。

★2/10 土 14:45-16:15 北港ワリスト 五月丘地域コミュニティー 36名(徒歩)

仁徳陵・博物館・伸庵
ガイド：林茂・高橋彰

【一言】あいにくの氷雨にもかかわらず説明を熱心に聞いて頂き、質問も多いスマートシニアの方々でした。「もっとゆっくり博物館を見学したかった」「茶室で一服したかった！」との声が多く「又、プライベートで堺へ来ます！」と多くの方が言っておられました。

★2/10 土 12:30-17:00 高知県立歴史民俗資料館 27名(観光バス)

利休屋敷跡・武野紹鴎/今井屋敷跡・堺事件/天誅組碑・大和川堤防・妙國寺・宝珠院・仁徳陵・博物館
ガイド：戒田

【一言】「土佐藩士の足跡をたどる」ツアーだけあって、堺駅の天誅組碑・土佐十一烈士碑、宝珠院などでは非常に関心が高く、身の引き締まる思いがしました。宝珠院では横田辰五郎さんの子孫の方が献花もされました。

★2/10 土 12:00-15:30 渡邊明子様 2名(徒歩)

博物館・履中陵ビュースポット・いたすけ古墳・御廟山古墳・仁徳陵・博物館
ガイド：浅川

【一言】東京からのご夫婦。特にご主人が古墳も含めて歴史好きで、雨の中でしたが、古墳をめぐりました。博物館ではVR体験ツアーも楽しみました。3時半のもずふるバスに向かう前、預かってもらっている荷物を取りに博物館へ戻った時に、ツアーの時間が取れました。「しっかり復習しました」とメの言葉でした。

★2/10 土 10:30-13:00 松山英美様 5名 (徒歩)

収塚古墳・御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵ビュースポット・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グワヨ坊古墳・孫太夫山古墳・仁徳陵
ガイド：國領

【一言】20代前半の歴史好きな女性のお友達グループ。これから「多くの古墳を廻り勉強したい」という方々。基本的な事から非常にレベルの高い質問まで熱心に勉強されながらの古墳巡りとなりました。雨の中ではありませんでしたが、「充実した時間を過ごせた」と喜んで頂きました。

★2/11 日 10:30-12:30 (公社)堺観光コンベンション協会 JR百舌鳥古墳群めぐり 5名(徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グワヨ坊古墳・孫太夫山古墳・仁徳陵
ガイド：山下昇

【一言】静岡からのご夫婦は、先日テレビで古墳巡りの番組を見て、どうしても見たくなりやってきたそうです。未だ古墳だけしか予定していないそうで、妙國寺、南宗寺に家康に関連した話があると勧めておきました。

★2/11 日 13:50-15:40 ツーリストトップワールド 名古屋市議会議員岩本たかひろ後援会 120名 (観光バス)

仁徳陵・博物館・伝産会館
ガイド：山端・志野・松浦・橋本要・小川正・渡辺和

【一言】仁徳陵の大きさに驚かれ、博物館では須恵器や火縄銃に興味を示されていました。皆様、堺観光を楽しんでおられました。

★2/11 日 10:00-11:30 堺市立中央図書館 21名 (徒歩)

天誅組/堺事件碑・龍神堂・神明神社・お台場
ガイド：呉竹・野澤

【一言】とても寒く浜風がきつい日でしたが、ウィキペディア作成を目指す人達ばかりで、真剣で観察力もありしっかりとした態度でガイド内容を聞いて頂きました。参加者は、20歳～73歳まで幅広い年齢層でした。

★2/11 日 10:00-15:40 堺ブロック 子ども会育成協議会 100名 (定点)

利晶の杜
ガイド：八木

【一言】大人向けに案内をとの事でしたが、お子さんも多くいらっしゃって少しお子さんにも分かるように案内させて頂きました。まだまだ難しいところもあったようです。

★2/12 月 13:50-15:45 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 34名 (観光バス)

利晶の杜・展望ビュースポット
ガイド：長江・中辻

【一言】短時間の案内でしたが、お楽しみ頂けたと思います。さかい利晶の杜での呈茶も喜ばれ、凝縮した堺を感じて頂けたかなと思います。

★2/14 水 10:00-14:30 クラウ関西テーマ旅行センター 古き良き町並みを残す七道 13名 (徒歩)

清学院・薫主堂・鉄砲館・水野鍛錬所・山口家・伝産会館・ザビエル公園・つば市茶寮
ガイド：山田豊

【一言】募集型のツアーでした。お客様はインターネットや新聞記事で事前に勉強して来られ、レベルの高い質問が多くでした。案内のしがいがありました。

★2/15 木 14:20-15:15 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 38名 (観光バス)

利晶の杜・展望台

ガイド：江川栄・川上由

【一言】関東方面からいらっしゃったミステリーツアーの皆様。到着が30分遅れましたが、後行程はスムーズに進みました。展望台では景色がかすみ、六甲、淡路島までは見通せなかったのですが、古墳群の話に時間を割いて案内したので喜ばれました。

★2/15 木 11:00-14:30 緑一休さん 10名 (徒歩)

展望台・仁徳陵・大仙公園・博物館・南宗寺

ガイド：西本

【一言】シニア自然大学の同窓会の皆様。樹木の事、鳥の事、昆虫の事、山歩きの事などを趣味とするグループは、行く先々でその知識を披露され、親睦を深められていました。ガイドにもしっかり耳を傾けて頂きました。

★2/15 木 12:30-13:30 NPO 関西文化研究開発機構 31名 (徒歩)

利晶の杜・利休屋敷跡

ガイド：高三・小川喜

【一言】お点前体験をされてからの館内案内でした。男女を問わず晶子記念館より利休茶の湯館の方が関心が高かったようです。

★2/16 金 13:35-15:00 ハッピーラン (株) 2名 (定点)

府大植物工場

ガイド：永田

【一言】3月の下見でした。案内だけでなく、方法や対応についても話しました。DVDの予定はなかったのですが、是非見たいとの要望で見ることになりました。

★2/17 土 10:00-14:30 クラブツー関西テーマ旅行ツアー 古き良き町並みを残す七道 23名 (徒歩)

清学院・薫主堂・鉄砲館・水野鍛錬所・山口家・伝産会館・ザビエル公園・Sakainoma 熊

ガイド：小出

【一言】堺の歴史を堪能して頂き、喜ばれ、ガイド冥利につきました。

★2/18 日 10:30-12:00 (公社)堺観光コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり 9名 (徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・葛西ヨ坊古墳・

孫太夫山古墳・仁徳陵

ガイド：樽野

【一言】手押し車を押す女性も含め、大阪市内や奈良などからの9人のお客様。古墳の木々は芽吹き始めて春近しを実感しました。皆様の心配りで無事に終了出来ました。

★2/18 日 13:00-17:00 河内長野東ロータリークラブ 20名 (阪堺電車)

天王寺⇄浜寺駅前

ガイド：牧

【一言】貸し切り電車内の案内でした。皆様和やかな雰囲気、質問も多くしっかり聞いて下さいました。

★2/18 日 9:30-12:30 大阪サイクリング協会 17名 (自転車)

七道駅・堺駅・堺旧港・伝産会館・天神餅・開口神社・大寺餅・紀州街道・河月堂・福栄堂・

浜寺公園・かん袋・宝仙・おかよし

ガイド：中村博

【一言】大阪サイクリング協会の行事として堺を案内しました。自転車乗りは甘味に目がなく、温かいみたらし団子をはじめ各お店で次々と買って頂き、皆さん大満足でした。

★2/18 日 10:20-17:10 戸澤昭彦様 1名 (徒歩+路線電車)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・履中陵ビュースポット・大仙公園・カフェイロハ・博物館・仁徳陵・

孫太夫山古墳・竜佐山古墳・狐山古墳・銅亀山古墳・展望台

が 卜：藤井安

【一言】東京からのお客様で「古墳時代にタイムスリップしたので、次回今秋には中世・近世の堺を観光にきたい」との希望で、大変堺を気にいって下さった。

★2/19 月 13:50-16:00 阪急交通社東日本 魅惑の開運ミステリーツアー 35名（観光バス）

利品の杜・展望ピエー

が 卜：矢木・田辺

【一言】羽田～大阪空港経由で堺にお見えになった関東からのお客様達。疲れも見せずそれぞれの観光スポットを楽しみました。関東の方にいつもの様に銀座のルーツは堺にあると説明しました。

★2/19 月 10:00-11:30 大阪いずみ市民生活協同組合堺南エリア委員会 12名（徒歩）

晶子立像・堺旧港・旧堺燈台・利品の杜

が 卜：松本潤

【一言】生協組合活動の委員会の女性で皆さん30～40代のお若い方中心。泉北地域の方なので燈台方面ははじめてで、映画「嘘八百」のロケ地マップを使い案内しました。最後にさかい利品の杜でも映画のロケ前前で写真撮影も出来、昼食場所に向かわれました。

★2/20 火 9:10-12:20 トラベル藤本 百聞は一見事業 41名（観光バス）

鉄砲鍛冶屋敷・展望ピエー・仁徳陵・利品の杜・利休屋敷跡

が 卜：濱田・寺口

【一言】絶好の行楽日よりとなりました。仁徳天皇陵古墳では「世界文化遺産になる事を楽しみにしていますよ」と声をかけて頂きました。百聞は一見事業の人達でしたので、人から聞くより実際に自分の目で見て、充分に堺の街を楽しんで頂けたと思います。

★2/20 火 9:10-15:45 大黒隆文様 VR体験と古墳めぐりツアー 2名（徒歩）

ニサンザイ古墳・百舌鳥八幡宮・御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・履中陵ピエー・平成の森・大仙公園・花茶碗・博物館・仁徳陵

が 卜：樽野

【一言】富山県から来られた岩石や植物がご専門の博物館の学芸員ご夫婦。予定の時間より早く中百舌鳥駅でお会いし、西高野街道を通り府大横からニサンザイへ。相談の上、百舌鳥八幡宮のくすのきを見たり、屋根の葺き替え工事中の高林家住宅へ行ったり、緑化センターで休憩したりしました。昼食の古墳カレーを喜んで下さり「案内があったので、楽しい古墳めぐりだった」と言って下さいました。

★2/21 水 9:30-17:20 クラツ関西テーマ旅行センター 見て！味わって！体験して！ 13名（徒歩）

薫主堂・鉄砲鍛冶屋敷・清学院・水野鍛錬所・利品の杜・展望ピエー・博物館・仁徳陵

が 卜：上野

【一言】タレな旅程で時間管理に苦労しましたが、天候に恵まれ興味一杯のお客様でしたので、楽しく案内出来ました。

★2/21 水 13:00-15:30 ジャパンライフトラベル 寝屋川市防犯協会 71名（観光バス）

仁徳陵・博物館・伝産会館

が 卜：辻・山下真・荻野・柴田友・林マ（研修）

【一言】寝屋川市には前方後円墳が無いらしく質問だらけでした。博物館でも埴輪や鎧冑を見て多くの質問やご意見があり盛り上がりました。「世界文化遺産の登録後にまた、来たい」と言って頂きました。

★2/21 水 10:00-14:40 池田サリーマンOB会 35名（徒歩）

履中陵・博物館・黄梅庵・仁徳陵・森のキッチン・展望ピエー

が 卜：金谷・藤井安

【一言】池田市のハイキング同好会の皆様。履中天皇陵古墳は初めての散策。内濠がこんなに大きくビックリされた様でした。同じ様に仁徳天皇陵古墳の内濠を見られたら…。予定コースを完歩され帰路に向かわれました。堺に多くの古墳がある事に大変関心をもたれ、「機会があれば又来たい」との言葉

がありました。

★2/22 木 10:00-16:00 南海電気鉄道株式会社 5名 (タクシー)

南宗寺・妙國寺・本願寺堺別院・方違神社

ガイド：川上浩

【一言】南海 NATTS の取材で市内各所をご案内。撮影、校正、質問含みなので、超スローに時間が進みました。方違神社では新しくなった部分まで神職さんに案内して頂きました。

★2/23 金 10:30-12:00 吹田市人権平和室 29名 (定点)

府大植物工場

ガイド：小川喜・永田

【一言】最近の野菜高騰のせいか関心を持って聞いて頂きました。この日は、レタスが100円だったので、沢山購入されていました。

★2/23 金 13:00-15:30 田原本町観光協会 17名 (観光バス)

展望台・仁徳陵・大仙観光案内所・博物館

ガイド：西本

【一言】堺と違って、田原本町に限ったガイドの申込は少なく、堺の観光ガイドを大変羨ましがっておられました。

★2/23 金 9:00-16:00 エムジェム 8名 (徒歩)

展望台・郷田商店・開口神社・本家小嶋・晶子生家跡・ザビエル公園・タノイ酢・H青雲荘・妙國寺

ガイド：武藤

【一言】お付き合いの長い堺ウォーク。今回は妙國寺での「堺事件、150回忌」をメインに。堺の伝統産業の昆布工場で削りたてのおぼろ昆布を、そして老舗の和菓子屋さんでは芥子餅の試食をしていただく。堺っておもてなし上手！もちろんお買い物も。ホテルの送迎バス内で「堺事件150回忌」に向け、皆さんこころ一つに。お連れした各所ではお世話になりました。

★2/24 土 10:00-12:00 産能短大校友会 11名 (徒歩)

清学院・鉄砲鍛冶屋敷・鉄砲館・山口家・伝産会館・ザビエル公園・晶子生家跡

ガイド：西川

【一言】短時間での案内に訪問箇所が多く、足の遅い方がおられたので十分な時間が取れなくて案内が短くなりました。

★2/24 土 9:00-12:00 大阪第一タクシー 41名 (定点)

第一交通株式会社

ガイド：川上浩・福井

【一言】観光タクシードライバー向け研修の座学部分を受け持ちました。検定問題の答えが出やすいように工夫しながら説明しました。どちらかというと新人を集めたようで、やる気が随所に感じられ、充実感を味わえました。地図を使って堺の観光スポットを案内しました。皆さん大変興味深く聞いて頂きました。

★2/24 土 12:45-16:30 大阪第一タクシー 35名 (タクシー)

南宗寺・大安寺・妙國寺・本願寺堺別院・山口家・水野鍛錬所・薫主堂・鉄砲鍛冶屋敷・伝産会館・

ザビエル公園・阪田三吉記念室・仁徳陵・御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・二ツサイ古墳・土塔・

方違神社・反正陵

ガイド：西井・金谷・川上浩・寺口・森口・奥野・中村博・桧垣・藤井英

【一言】観光タクシードライバーさん向けの実施でした。19カ所(必須18カ所+旧天王貯水池)を車窓のみを含め回りました。運転手さんのガイドを聴いて補足することを予定していましたが、まだ慣れていないようで話が続かないので、要点を説明する方法に切り替えました。しかし、観光ガイドの面白さの一端は感じて頂けたと思います。

★2/24 土 10:00-12:40 第19回企画ツアー 18名 (徒歩)

須恵器の穴窯・櫻井神社・小谷城郷土館・多治速比売神社・荒山公園

が 卜：竹原・浅倉・柴田友

【一言】泉北エリアの貴重な文化財を巡るワーク。顔なじみのお客様と秋の文化財公開以来の再会もありました。泉北方面に初めて来られた方もニュタンの歴史や豊かな自然・神社・梅を堪能されていました。櫻井神社の「こおどり」の話をするとその時期にも来てみたいと言っておられました。

★2/25 日 10:30-12:30 (公社)堺観光コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり 6名 (徒歩)

御廟山古墳・いたすけ古墳・履中陵・平成の森・七観音古墳・旗塚古墳・グワシヨ坊古墳・

孫太夫山古墳・仁徳陵

が 卜：澤井

【一言】京都からの女性2名、大阪市内の女性、最近堺に引っ越しをして来られたご夫婦、4月に古墳めぐりの下見に来られた高石の男性の参加でした。カメラや双眼鏡を覗かれる方、煙を取られる方やウォーキングを兼ねての古墳見学の方もおられ「個人で回っても何も分からないが説明して頂き良く分かりました。」と言って下さいました。

★2/26 月 13:50-15:50 阪急交通社東国内 魅惑の開運ミステリーツアー 22名 (観光バス)

利品の杜・展望ピラー

が 卜：田辺・川上由

【一言】2泊3日の最初の行程が堺という事もあり、皆さん熱心に耳を傾けて下さり、ご案内のし甲斐がありました。展望ピラーでは霞がかかっており海も山も見えなかったのは残念でした。

★2/26 月 10:45-14:15 仲間 博之様 1名 (徒歩)

博物館・収塚古墳・孫太夫山古墳・竜佐山古墳・七観音古墳・履中陵ビュースポット・いたすけ古墳・

善右衛門山古墳・御廟山古墳・仁徳陵

が 卜：林茂

【一言】沖縄の高校の元校長先生。数学が専門だったが、リタイ後、歴史（特に弥生・古墳時代）に興味を持ち全国を飛び回っておられる。今日は、百舌鳥古墳群を巡って感激したそうです。

明日は、岡山、明後日は出雲の古墳を訪ねる予定との事です。

★2/27 火 11:00-17:30 正木由美様 9名 (タクシー+阪堺電車+路線バス)

曾呂利・伝産会館・利品の杜・利休屋敷跡・本家小嶋・晶子生家跡・展望ピラー・日本庭園・博物館・

仁徳陵

が 卜：小川喜

【一言】が 卜をするプロの方々でした。色々な事に興味を持たれていました

* 3月度 堺市博物館での「仁徳天皇陵古墳VR (VR体験ツアー)」担当ガイドとお客様数

日・曜日	1/木	2/金	3/土	4/日	5/月	6/火	7/水	8/木	9/金	10/土
ガイド氏名	川上浩	野澤	土井 川上由	小川正 木村義	— —	田辺	川上由	柿澤	西本	西井健 川上浩
お客様数	16名	18名	21名	91名	—	11名	10名	55名	9名	47名
日・曜日	11/日	12/月	13/火	14/水	15/木	16/金	17/土	18/日	19/月	20/火
ガイド氏名	田辺 中辻	西川 細谷	奥野	森口	藤井安	西本	土井 奥野	川上由 西川	木村義	小川正
お客様数	102名	43名	8名	9名	10名	12名	40名	39名	19名	11名
日・曜日	21/水	22/木	23/金	24/土	25/日	26/月	27/火	28/水		
ガイド氏名	川上由	田辺	森口	野澤 藤井安	小川正 細谷	中辻	藤井安	柿澤		
お客様数	34名	13名	33名	34名	49名	8名	19名	18名		

【一言】

- ・鳥取からの男性は北山古墳の近くにお住まい。また、池田から来られたご夫婦からは、池田茶臼山古墳の形は前方後円墳だと教えて頂き、話が盛り上がりました。
- ・沖縄の男性は、沖縄には古墳がなく百舌鳥古墳群の今と古代の映像をVR体験できて良かった、と。
- ・台湾からの男性には簡単な日本語でご案内。リアクションも大きく喜んで帰られた。
- ・特に皆さんは石室に興味を持たれていた。

* 第19回 堺新発見ツアー「櫻井神社と荒山公園の梅林見学」に参加して

【久野 洋子】

2月24日(土)は、国宝の割拝殿がある櫻井神社と荒山公園の梅林散策に参加してきました。当日は2月とは思えない陽気に恵まれ絶好のウォーク日和でした。

泉北丘陵は須恵器の一大産地であり、ここから全国に流通していったとの事です。須恵器の窖窯(アガマ)の前では当時の風景に想いを馳せたり、日本野鳥の会会員で、観光ボランティア協会に所属している方から、泉北の野鳥についてお話を聞いたり、楽しいスタートでした。

堺唯一の国宝である櫻井神社の割拝殿は、外壁の白と木部の朱色のコントラストが美しい鎌倉時代前期の建物です。内部の中央が土間で馬道になっており、通路の両側の板張りを倒すと天井や床になるという構造が意表をつきます。「こおどり」の大きな仮面の下にはなんとアイドル「嵐」のファンの絵馬がぎっしり。メンバーの櫻井翔さんの櫻井繋がりだと思いますが、由緒ある国宝とのギャップが何とも愉快です。

小谷城郷土館では館長より、平家だった小谷家の歴史を拝聴した後、館内見学です。小谷城は海拔80メートルの山にあり、南北朝時代は南朝方として千早赤坂と浜寺を結ぶ「のろし」の中継地点であったとの説明に、納得させられる急勾配で皆の足にも疲れが見えます。

多治速比売神社の長い階段を、最後(?)の力を振り絞って登ると、普段は入れない本殿を見学させていただきました。本殿は想像以上にカラフルで、極彩色の透かし彫りが目を引きまします。「蟬螂、芭蕉はどこ? シャチは?」と彫り物探しに夢中になり、疲れもイッキに飛びました。

早咲きの梅が見頃の荒山公園で解散、計5.5km程の行程だそうですが、見所一杯自然たっぷりの楽しい半日でした。ガイドの皆様ありがとうございました。

* 高三相談役のリュックはドラえものの『***リュック』

【江村 幸一】

3月1日(木)9時30分過ぎに、バスは一路『法雲寺』(黄檗宗:つつじの寺;美原区)へ、本堂には3,300体の仏像が並び、狭山藩の墓所でもあったところ。大洪水や飢饉に、地域民衆の心のよりどころとなった。市立みはら歴史博物館で、河内鋳物師のルーツと歴史的意義の説明があった。

今回は、黒姫山古墳(参考墓)を訪問したい。昼食に古代米弁当に舌鼓を打った。行基建立の土塔(大野寺傍)で、復元された土塔を見て、こんな作り方もあるのだと感心した。続くハーベストの丘で、野菜中心に買い物をし、法道寺(鉢ヶ峯寺)で伽藍の説明等聞き、近隣の国神社を見た。

最後に、櫻井神社の宮司様による神社来歴の解説があり、ある参加者は「以前、我が子を連れてきて祈祷してもらった」と語った。最後の「市中心部も大事ですが、南まで観光客が来るようにしてください。」との宮司様の言葉には、宿題を頂いた気分になった。

ツアーガイドの出発30分前に担当者は、挨拶、打ち合わせを済ませる必要性も感じた。研修の中で心に残ったのは、高三相談役の「観光ボランティアとして、長期の計画の元にガイドを継続してきたが、冷や汗の連続だった」とのお言葉。下見は必須で、リュックの中身の紹介があった。地図、行程表、水筒を入れる反対側のネットの中に黒い袋。(中に、虫除けキンカン、バンドエイド、のど飴等)私にはドラえものの『四次元リュック』に見えた。今回計画し、実施していただいたツアーガイド部に感謝し、早くガイドとして一人前になれるように精進しようと感じた。

企画部ニュース*** 南海・歴史探訪ガイドウォーク**

30年度の骨子が決定しました。メインタイトルとして、南海・歴史探訪ガイドウォーク「幕末・維新編」を展開します。第1回は5月20日(日)堺が主担当で「産業維新を起こした知られざる堺の偉人達」を開催します。チラシ案が出来ました。各方面に後援名義を申請中です。

*** 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク**

3月24日(土)に第10回「先人の知恵を感じながら大和川堤防・流域を歩く」を堺主催で開催しました。9時30分新金岡町ブリック公園集合でJR浅香駅まで約9kmのコースです。皆様のご参加をお待ちしています。テーマとなる「大和川の付け替え」について勉強中です。

*** 日本遺産(竹内街道・横大路)活性化実行委員会**

難波大道・竹内街道・横大路が通る、大阪市から桜井市までの10市町が連携する日本遺産活性化委員会が始動し出しました。まだ先が見えない段階ですが、堺市からの協力要請もあり、ワークショップに参加しました。今後も支援・協力していく予定です。

*** 歴史街道推進協議会**

今秋に5私鉄と歴史街道推進協議会主催のスタンプラリーが開催されます。当協会もウォークを開催し、協力する予定です。

*** 留学生の指導**

3月6日、13日と台湾から大阪大学に留学している学生の指導を行いました。各定点では皆様にご協力をいただき有難うございました。

*** 「堺に魅せられた台湾からの交換留学生」**

林 明柔(リン ミンジュ)さんは、台湾大学の4年生で、大阪大学との交換留学生で、日本の観光業や地域振興について勉強するために来日されました。

歴史文化遺産の多いまちということで堺を訪れて見て、その魅力にひきつけられ、自分の研究対象として最適な‘まち’だと、思ったそうです。文化遺産もさることながら、堺の観光ボランティアガイドのガイドを受けて、ボランティアである市民の堺への愛着がすごく感じとられたからです。

林さんがすごいのは、研究の為には体験しなければと、大学、担当教授に頼ることもなく、単身異国の見知らぬ‘まち’の当協会に直接コンタクトされてきたことでしょう。喜んで大学連携担当の企画部で受けて、まずは、1日堺の観光スポットを自転車でご案内しましたが、仁徳天皇陵や、博物館、日本庭園、山口家住宅、南宗寺など、定番のスポットは全てご自分で既に廻って、ガイドも受けているとのこと、行ってないスポットを探すのに苦労しました。

日本語は、一通り話せるし、何より理解が早い。(我々の日本語しかしゃべれないガイドの話を聞いてですよ!)次に、体験ガイドということになり、百舌鳥古墳群を21階展望ロビーから、仁徳天皇陵を拝所前で、定番のマニュアルで不自由な日本語でガイドをして頂きましたが、それだけではもったいないので、「中国の人にガイドすると思って、中国語でガイドをして見て」とお願いすると、たどたどしい日本語のガイドとは、うって変わって流ちょうなガイドがスラスラ出てきます。残念ながら中味は理解できなかったのですが、自信ありげな態度や目を見るだけで大概是察されます。

【小川 正夫】



拝所前の中国語のガイド文をお見せしたところ、間違いの指摘や、中国人には固すぎる言葉使いの指摘などもしてくれました。我が協会の中国語勉強会へも喜んで参加頂き、中国語をしゃべれるメンバーとも楽しく交流して頂きました。

林さんは、8月まで滞在され、残り少ない期間ではありますが、レポート作成の合間に、中国のお客様に実際にガイドをして頂くチャンスを何とかつくりたいと思います。

定点ガイド部ニュース

*「泉州堺湊新地繁栄之図」の原画について

- ・展望ロビー2月の活動日誌に、壁面の「泉州堺湊新地繁栄之図」の原画はどこで見られますか？とお客様に質問され、分からず返答できなかった。との記載がありました。
- これについて、堺市博物館の矢内学芸員に教示頂きました。以下のとおりです。
- ⇒ ・この図は、木版刷りなので、あちらこちらに、この壁画面の原画（肉筆ではなく、木版印刷）があります。
- ・肉筆画は、伝わっていません。
- ・堺市博物館、堺市立中央図書館には、「泉州堺湊新地繁栄之図」（木版印刷図）があります。
- ・閲覧に関しては、堺市立中央図書館にお問い合わせいただき、施設の規定に従ってください。

* 自転車博物館特別展「フランス自転車」勉強会開催のお知らせ

- ・5月9日（水）10:00～12:00、自転車博物館において、2018年度特別展「フランス自転車」の勉強会を開催します。自転車文化が幅広く深いフランスに焦点を当てた、展示品10～12台のガイドポイントの解説です。対象は自転車博物館研修を受講された方です。申し込みは5月活動予定表の行事予定欄に「○」印を入れてください。参加の方は、当日制服・名札着用をお願いします。

*3月12日（月）全体部会を行いました

- ・下記は、各定点の2月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

◇ Aグループ（戒田 啓二）

* 堺市役所21階展望ロビー（担当：桧垣・平野・大北）

- ・2月24日（土）は映画「嘘八百」ロケ地めぐりツアーと、書道展表彰式が重なり、凄い人出でした。
- ・新婚の若い2人。「今、婚姻届を出してきました。」と、湯気が立っていました。おめでとう！
- ・大阪市内の御夫婦。映画「嘘八百」に出ていた灯台を見に行くと行っておられた。

* 堺駅観光案内所（担当：重永・今村）

- ・大衆演劇場へ行く道順をよく尋ねられます。2月10日には博多からの若い女性2人に大衆演劇場へ行く道順を尋ねられました。遠方からはるばる観劇に来られているのに驚きました。
- ・和歌山からの親子4人に大小路で、晶子生家跡の場所を聞かれた。そこから、山之口商店街→開口神社→晶子生家跡→利休屋敷跡へのご案内しました。「今日はラッキーな日だ。ボランティアさんに会えて良かった。」と喜んでもらいました。

* 大仙公園観光案内所（担当：平木・堀・川上由）

- ・堺市が、大仙公園で育ててきた新品種の桜が日本花の会により「与謝野晶子」として品種認定され

ました。公園内晶子歌碑の傍らには、植樹済です。三月末から大仙公園にはいろいろな種類の桜が咲き乱れます。拝所前やミニツアーのガイドの中でも、お客様に紹介してください。

- ・高知からの方。「来る時、飛行機からたくさんの古墳が見えてワクワクしました。」とスマホの写真を見せて下さいました。

⇒九州、四国方面から大阪国際空港へ向かう時、眼下に百舌鳥古市古墳群が見えます。

- ・千葉からのお客様。「千葉県は古墳の数は全国第四位（現存数と消滅数を合わせた総数）、前方後円墳は全国一位です。の話にビックリされ、帰ってからいろいろと調べます。」と喜んでおられました。

◇ Bグループ（中村 博司）

* さかい利晶の杜（担当：松村・柳）

- ・劇「小林一三物語」で晶子役をされる「平 みち」さん（元宝塚歌劇団）とピッコロ劇団の主催者の方が訪問されました。

⇒兵庫県立ピッコロ劇団「マルーンの長いみち～小林一三物語～」2/23～25 兵庫県立芸術文化センターで上演されました。

- ・堺市は交通の便が悪いと言われました。中百舌鳥駅から利晶の杜へ来るのが大変だったそうです。

⇒中百舌鳥駅南口から 31-32 番堺駅南口行きのバスは 15 分ごとに出ており、このバスに乗って宿院で降りると便利です。

- ・「嘘八百」「マンハント」「文豪ストレイドッグス」等、映画の影響は大きいと思いました。映画で紹介された大寺餅へのご案内も多かったようです。

* 千利休屋敷跡（担当：辻・梅影）

- ・堺市男性 1 名、女性 2 名。以前、ここに来た時に親切にガイドしていただいたので今日は友達を連れて来たとのこと。

- ・2月9日、本日接客したお客様は全員が説明をよく聞いて頂き、「ボランティアさんも寒い中大変ですね」とねぎらいの言葉も頂戴しました。

- ・2月16日、草取りと、苔が乾燥でカラカラになっていたので散水をしました。

⇒これから暖かくなるので配置になった皆様には水まきをお願いします。日誌の中にチェック欄を記載していますのでよろしくお願いします。

* 山口家住宅（担当：國領・石川）

- ・2月は箕面市立彩都ノ丘小学校の 122 名、中国・ベトナム・フィリピン等からの留学生 230 名の来館があり、入館者増に大きく寄与しました。

- ・2月7日堺市広報課の動画撮影があった。スタッフ 9 名でレポーターは大学生でした。

- ・台湾のご夫婦。ご主人は英語、奥様は片言の日本語で案内。台湾の実家を思い出すと言われた。台湾にも古い家には「へっついさん」があるそうです。

* 清学院（担当：澤井・林・佐野）

- ・清学院の元住人の外孫にあたる泉大津在住の女性が来館。子供の頃、この場所でよく遊んだそうでとても懐かしんでおられた。「玄関土間に入って右側が台所、対面が風呂。井戸はもう少し手前だったかな？トイレは今の位置です。仏殿は上からぶら下がっていたみたいでした。」といろいろ話していただいた。

- ・横浜からの男性 1 名。仏像が好きで、是非特別拝観の時もう一度来てみたいとのことでした。神棚の宇賀神（宇賀弁財天）や大黒天・毘沙門天を見て大変興奮されていました。

- ・「弓」は何で出来ているのか？竹なのではないのか？と聞かれましたが・・・？
⇒和弓の素材には、一般的に真竹、黄櫨（ハゼノキ）がよく使われる。黄櫨は強く弾性に優れていることから側木（そばき）に使われる。神事に使われるアズサ（ミズメ）と云う木材で作られた梓弓もあるようです。（参考：全日本弓道協会、ウィキペディアのサイト）

◇ Cグループ（大橋 昭夫）

* 南宗寺（担当：中西慎・上野・澤野）

- ・泉南からの男性。駐車場が分かりにくいと不満一杯で来寺。案内も不要と言われたが、案内するうち、松下に勤務していたと和やかに。帰り際には「ガイドが聞けて良かった」と。
- ・広島からの男性。三好長慶の子孫で、先祖が建てたゆかりの南宗寺に来てみたかった。観光ボランティアの話が聞けて、とても感激ですと。
- ・叔母の所へ晶子の従姉が嫁いで来ていたという方が、大安寺に晶子（鳳家）の墓を見に来たが、間違えて南宗寺へ入って来られ拝観された。

* 妙國寺（担当：小出・箕野）

- ・千葉より親子。蘇鉄の寺を見ようとふらっと寄ってみたが、枯山水庭園と、お宝に感動しきり、大変喜んで頂いた。
- ・羽曳野より夫婦。新聞に宝珠院を見学出来ると載っていたので、お墓参りをしたく拝観に来た。
- ・高知県立歴史民俗資料館より 26 人。その中に横田辰五郎さんの五代目の方もおられた。
- ・2月24日高知の母親と大阪の息子。9番目に切腹の北代健助さんのご遺族が来寺。昨日の式典には出席できなかったが、宝珠院では、涙を流して、お参りされていました。

* 堺伝統産業会館（担当：奥野）

- ・池田市からの母と小学5年生の娘さん。学校の宿題で産業の勉強に来館。学校で言われた5つの候補都市の中から産業と言えば堺ということで、堺を選び勉強に来られたとの事。熱心に説明をメモしておられました。
- ・堺市の夫婦。「数年前にここで緞通を買ったが型くずれせずにとっても良い」とおっしゃっていました。

* 自転車博物館（担当：大橋・溝）

- ・聴覚障がいのある方の成人グループをガイド。ビデオ視聴の後で、皆さん自由に館内を見ておられたが、質問などは手話通訳の先生2人を通じて説明し、3Fのイタリア自転車も楽しんで頂けた。
- ・自分の使用しているママチャリと最新自転車の違い（技術進化）に驚いておられた。

広報部ニュース

* 来月号の記事依頼

- ・春季文化財特別公開が始まります。つきましては、各公開個所の担当者の方に、感想文の投稿をお願いします。また改めてリーダーさんに連絡させていただきます。広報部では、会員が活動している様子や楽しい場面の写真を撮り、次月号に掲載する予定です。

《インフォメーション》

* 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産登録の国内推薦されました。

1年後と予想される世界文化遺産登録に向けて、堺の歴史や文化を学びましょう！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	4月 18日 (水)	14:00	大仙拝所前にて、実地の通訳実習
・韓国語同好会	4月 5日 (木)	9:50	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	4月 19日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ6階会議室

※ 上記サークル等に参加希望の堺観光ボランティア会員は、直接、会場で申し込みください。

《ガイド便利MEMO》

◆ 施設、店舗の4月の休館日(休業日)について

・山口家住宅・清学院	(休館日) 3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)、
・堺アルフォンス・ミュシャ館	(休館日) 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、
・日本庭園	(休園日) 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、
・堺市博物館・伸庵	(休館日) 2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、
※VRツアー・古墳シアターは、9日(月)、16日(月)、23日(月)は観覧可です。	
・自転車博物館	(休館日) 2日(月)、19日(月)、16日(月)、23日(月)
・堺伝統産業会館	無休です
・「さかい利晶の杜」	(休館日) 17日(火) ※観光案内展示室は、無休です
・大寺餅本店	(休業日) 10日(火)、17日(火)

◇ J:COM堺「堺シティレポ」3月の放送予定

堺市広報課より3月のJ:COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんので、注意して見ておいて下さい。

『J:COM堺 11チャンネル 15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』

※特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。過去の番組は堺市のホームページでもご覧になれます(一部を除く)。堺市チャンネル(検索)

http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/koho/sakai_city_repo/index.html

4月	6日(金)まで	笑顔あふれるまちづくり～平成30年度当初予算～ (1)
	7日(土)～13日(金)	世界に開かれた国際都市・堺をめざして (2)
	14日(土)～20日(金)	みんなでつくる 中心市街地のにぎわい (2)
	21日(土)～27日(金)	人と人をつなぐコミュニケーション (2)
	28日(土)～5月4日(金)	支え合い、いきいき暮らせるまち 堺 (2)

【お知らせ】

大仙公園の桜

【川上 由】

ご存じのように、大仙公園は堺一の桜の名所です。百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に認定されると、この大仙公園エリアはきっと観光客で賑わうことでしょう。桜のシーズンは、この「桜と古墳」



で一層美しい景色を演出してくれるはずです。拝所前に訪れた方々に、ぜひ、大仙公園の桜の紹介をしてください。

公園内には15種類以上1000本以上の桜があり、ビュースポットも沢山あります。(大仙公園案内所にサクラマップ有り)そして今年は、新種のアキコザクラを、公園内の与謝野晶子歌碑のそばに植樹しています。この桜の正式名はなんと「与謝野晶子」です。3月末から4月初旬にいろいろな桜が咲き乱れます。今が見ごろです。

《トピックス》

*「大久保利通日記」から読み取る 大久保利通、税所篤そして堺 その3

～「大阪会議」の項2～

【小川 正夫】

(以下、●は大久保日記、○は木戸日記による。)

三橋楼での最初の会談では合意にまでは至らず、木戸は大久保には「一書を投し 是非余の素願を達せんことを乞う」と手紙を渡すだけで、謝罪に訪れた黒田も追い返すほどで、怒りはおさまらなかったようです。

大久保は、冷却期間を置くつもりでしょうか、名目上温泉で静養するとの理由で東京を離れていることもあり、1月14日～17日にかけて五代と有馬温泉に湯治に行き、20日からは堺の市村別荘で村人と囲碁を楽しんだり、「八幡山」に遊猟したりと、22日まで堺で過ごします。それは、伊藤博文に手紙を出し、彼を大坂に呼ぶための待ちの時間だったようです。

●1月23日；「伊藤氏昨夜着ニテ入来 寛々（かんかん）相談致」

○1月23日；「昨夜伊藤博文東京より着今日来訪」

伊藤は参議としての激務をぬって東京から駆け付け、大久保と善後策を練ったのでしょう。その後、木戸をも訪ねていることが分かり、両雄の斡旋役としての伊藤の役割が見えています。その後、木戸の方から、大久保との仕切り直しを図る為の催しが、三橋楼で行われました。

○1月26日；「一時過ぎより三橋楼に至り碁会を催す 来席者は、大久保、五代、内海、伊藤・・・等也、十一時散会」

●1月26日；「九時から荏原（家原）邊で遊猟 午後十二時篤氏同道三橋楼に至る 今日木戸氏催ニテ招請有之多人数取會ニテ碁碁」

大久保の大好きな碁の会を催すことにより、大久保に話し合い再開のシグナルを送っているようですが、実は木戸はこの数日前に、もう一人の主役となる人物を大阪に呼んで会っていました。

○1月22日；「一時過ぎより板垣退助を訪う・・・民選議員論に付余等の考案も陳述し三氏の意見も承知し帰途」

西郷と共に下野した板垣は、愛国党を結成し、自由民権運動の旗手となり活動しており、急進的な議会制度推進者となっていました。その板垣と同志の小室、古澤の3人と木戸は和やかに意見交換をしています。木戸は、目的を同じくする板垣を論議に加えることが必要と感じたのか、或いは薩長だけでなく、土佐も入れた政府運営が必要と考えたうえで、板垣の政府復帰を図る為だったのかもしれませんが。ここから木戸は、板垣、大久保という征韓論政争で対立し、国政に対する考え方でも両極端にある両者の和解斡旋に務めます。

○1月30日；「板垣等と将来の時情に付き立法会議等の事 余意見のまま談論す 多少の異同あるも、大義余の意見と賛同す」

○2月9日；「九時過ぎより伊藤と大久保に至る 余の定律の主意 民会を起し徐々国会の基を開かんとする意見陳述、大久保も同意、余せつに欣喜雀躍す」

●2月9日；「十時頃 木戸氏伊藤氏入来 木戸氏板垣氏談合の事に付き相談有り」

○2月10日；「井上（馨）宅へ板垣等を会し、前途の目的 余平成陳述する ところ今日改めて告 諸氏々々皆賛同す」

伊藤の談話等によれば、この時の木戸による板垣、大久保との個別の意見調整が、大審院、元老院

の設置、地方官会議の開催、などの施政方針に関する合意でした。両者から個別に同意を得た木戸は、大久保と板垣の顔合わせ、手打ち式ともいえる会談を料亭加賀伊で催します。

○2月11日；「十一時前より加賀伊に至り、今日は余大久保、板垣を招けり、一昨年政府両端に別れしより大久保、板垣は始めて面会せしなり

議論両端と雖も交際の道は不可絶 余為前途此の紹介をなせり」

●2月11日；「一時より木戸氏招にて伊藤氏旅宿に至る 板垣氏、井上氏、鳥尾氏等、出會」

淡々と事実だけを記述した大久保日記に対し、思いが溢れる記述の木戸の日記のおかげで会談の雰囲気は察しられますが、加賀伊での会合は、「意見は違っても仲良くやろうや」という確認であり、此处に至る2か月間にもわたる葛藤に満ちた一連の会談こそが「大阪会議」といわれる歴史的出来事なのです。

大阪会議での同意により木戸、板垣は参議として政府に戻りましたが、急進的な板垣は漸進的な歩みには耐えられず再び下野し、病弱でもあった木戸も参議を辞し、西南戦争で士族の反乱に終止符を打ち、いよいよ内治國制の整備に本格的に着手しようとしていた大久保も、道半ばで暗殺されてしまいます。彼らが目指した立憲君主制の実現は、14年後の明治22年、初代総理大臣となった伊藤博文によって成し遂げられることになります。

今も高級料亭として存続する花外楼さんにある明治の5元勲のレリーフと説明板等により、大阪会議とは、加賀伊で2月11日に行われた会談の事だと思っている方(私もそうでした)が多いのですが、花外楼だけではなく大阪会議の名跡としては、三橋楼跡も重要な舞台として見直されるべきでしょう。

(三橋楼も花外楼と並び大阪市の「顕彰史跡」に指定されています)



花外楼にある木戸孝允(号 松菊)の揮毫

* 徳川家康の伊賀越え・伊賀者が支えた徳川盤石政府

【山田 武彦】

最近発刊された本、中公新書の「日本史の内幕」(磯田道史著)の中に次のような一節があります、【大久保彦左衛門『三河物語』はこう書く。「信長は伊賀国を切り取り、撫で斬り(全住民殺害)にして、諸国に落ちのびた者まで捕えて成敗した。その時、三河へ落ちのびてきて、家康に庇護を求めた(伊賀)者を(家康は)1人も成敗せず扶持を与えていた。それで伊賀国内に討ち漏らされていた者は、かたじけない、恩返しをせねば、とっていて(家康を援けて難路を)送ってくれたのだ】と。

本能寺の変の時、堺に居た家康は信長と親しく、また大物でもあるので、ぐずぐずしていると命があぶない。そこで京都に行くと呼びよせ6月2日に堺を出発し、三河への最短距離である伊賀越の間道を取って、出来るだけ早く岡崎に帰ることにした。

政情不安から一揆が随所におこり、家康一行も危うくそのえじきとなる所であった。「随行の家臣らが決死の覚悟でやっと通りぬけることができた。この時伊賀の郷土の一部と、京都の豪商茶屋四郎次郎清延の案内と援助もまた大いに役だった。」「この時伊賀者200人が、伊賀路から伊勢の白子まで案内したといわれ、その〈御忠節〉によって徳川氏に認められ、のちに江戸幕府の隠密を務めることになった。」と言われる。

しかし徳川と伊賀者の関係はもっと古く、元亀3年の三方原の合戦でも手柄をたてている。

さて、伊賀者とは何か、伊賀者とは「甲賀者とともに忍びの術の本家と言われているが、そうした隠密の役だけでなく、各地の大名にも仕えて大いに重宝がられている。城攻めの際には、城中に潜入して攪乱工作をしたり、火薬庫の爆破等に当たった例がしばしばみられる。」それがために味方にすれば頼もしいが、敵に廻すと厄介な存在となる。信長も家康もそれを知っていたが、その扱いが正反対となった。伊賀者を敵とするか味方にするか、これは堺に対する2人の接し方にも言えることかも知れない。 参考文献： 磯田道史著 「日本史の内幕」、 北島正元著 「徳川家康」

* もっと知って欲しい天王寺屋！「天王寺屋と堺」文化講話対談を終えて

【柿澤 和代】

堺の豪商、天王寺屋津田家、4年後の2022年「利休生誕500年」をむかえるにあたり、利休と同時代を生き、利休の茶の湯に多大な影響を与えたであろう、天王寺屋を知らなくして、堺の茶の湯は語れない。

そこで「天王寺屋」といえば、この方しかいない。白羽の矢を立てたのが京都で津田家の法灯を守り、天王寺屋が所持していた曜変天目茶碗（国宝）はじめ、数々の名宝を今日まで守り抜いてこられた大徳寺龍光院小堀和尚様。堺にお迎えし、天王寺屋について語っていただこうと、3月11日（日）さかい利品の杜開館3周年記念・利休生誕500年に向けて「天王寺屋と堺」文化講話対談が実現する運びとなった。



小堀和尚は大変、お忙しい方で、いまでも東北や熊本被災地に足を運ばれ、被災地の人々と寄り添われている。現地で開催する茶会には700人の人々が集うという。「お茶の力というのは本当に不思議だ」と話された。

この講話対談、狭間堺市副市長が聞き手となって、学術的な難しい質問ではなく、女性らしい視点からの問いかけに、小堀和尚の温かい人柄や人間的魅力を感じることができ、会場は終始なごやかなムードに包まれていたのが印象的だった。

当日は参加者に振舞われる龍光院御好茶名「大通庵」の挽きたてのお茶、（大通庵のお茶については別紙を参照）天王寺屋ゆかりのお軸や、堺にあった「大通庵」に掲げられていた400年前の扁額をご持参下さり、京都から、いま、まさに天王寺屋が堺に里帰りしてきた思いにとらわれた。

平成27年8月2日、津田宗達450年忌が堺の南宗寺で営まれた。「京都からみても堺は仰ぎ見る存在だった。だから堺の地で法要を営んだ」と和尚の言葉に、堺に住み堺を案内出来ることの喜びを一層強くした。

大坂夏の陣で堺の町が焼ける前、津田宗及の次男、江月宗玩（龍光院開祖）は天王寺屋の数々の名宝、茶会記など、大徳寺山内に避難させ、400年変わらず、龍光院で守り抜かれてきた。国宝の天目茶碗は日本に3碗存在するが、400年間、オーナーが変わらなかったのは龍光院にある「曜変天目茶碗」だけ、あとの2碗は時代々の経済力のあった人々の手に転々としたが、龍光院の天目茶碗がそうならなかったのは信仰のおかげ、感謝のおかげ、何事も感謝することが心を豊かにする秘訣だと説かれた。

龍光院の蔵に残っていた江月宗玩和尚の説話集「欠伸稿（カシコウ）」は大阪夏の陣で焼ける前の堺の様子、焼けた後の寂寞たる情景などが書き記され、堺の中世、近世のことを知る上で、貴重な資料だ。龍光院では20年前から、定期的に「欠伸会」の勉強会が開催されているという。天王寺屋と堺を知る上で、よくぞ、このようなものが残っていたと、私たち協会員有志も「欠伸かもめ会」と名付け、目下、猛勉強中である。

知らなかった天王寺屋がだんだんに明らかになってきた。堺からきたというだけで温かくむかえてくれた龍光院さま、利晶の杜や堺市、そして呈茶チーム「茶々の会」の協力で、NPO法人堺観光ボランティア協会が、このような文化的な行事をプロデュースできた事を誇りに思う。

《あ・ら・かると》

*「堺市西区歴史探訪その10ー往古、戎（エス）神が降臨した石津神社ー」

【田辺 謙二】

石津川と国道26号線が交差する堺区石津町に鎮座している石津神社は、樹齢千年の大樟（マカス）がお社と鳥居を守っているように見えます。西区歴史探訪で堺区にある寺社を取り上げるのは、この地が行政上は堺区になっているものの、石津川を挟んで直ぐの船尾町や国道の西側の浜寺石津町は西区であったりするなど、西区／堺区が混在している土地だからです。

由緒書に「日本最古の戎の宮」として謳っているように、八重事代主神（ヤマトシメノカミ＝戎さま）が五色の石を携えて此の地に降臨したことから「石津」と名付けられたと古文書にはあるそうです。また、第11代垂仁天皇の時に出雲の国の野見宿禰（ノミスクネ）が当麻蹶速（タマケハヤ）と力競べで功を為して領地を賜り、後に石津神社の神官になったそうです。

この野見宿禰は「相撲」の祖とも言われて、末社として当神社に祀られています。天皇が崩御した時に殉死をしていた慣わしを「埴輪」に変えることを献言したことでも有名です。土師器（ハジギ）生産地として知られる泉北地域が南に位置していたこととも関わりがあるのでしょうか。

土師部（ハジベ）であった野見宿禰の末裔は後に菅原姓に改名します。神社の末社の一つとして天満宮が祀られているのは、菅原道真が九州大宰府天満宮に左遷の旅に出る時に当神社に参詣し、そして堺の港から瀬戸内海を船で渡って行ったことによります。

石津神社からはほぼ真西1kmほどに石津太（イッタ）神社があります。毎年12月14日には泉州の奇



祭と呼ばれている「ヤサイ・ホサイ祭り」が行われている神社ですが、どちらも戎さまを御祭神にしていることから繋がりがあられるのでしょうか、定かではありません。恐らく村が大きくなっていく過程で新たに神様をお祀りする場所が必要になった、ということかと思えます。そして時を経て江戸時代以降、堺の村々では秋の稔を祝って秋祭りが盛んに行われます。堺百町の町筋にはだんじりや布団太鼓の景気のいいお囃子が聞こえ、若者達の疾駆する姿が見えますが、ここ石津神社には両方の神輿が2台ずつ（更に子供だんじりも2

台）宮入りします。その勇壮華麗な姿には時が経つのも忘れるほど見入ってしまいます。今、神社の境内には与謝野晶子の歌碑が建ち、訪れる人たちに明治・大正のロマンを感じさせると同時に、お社の悠久の佇まいに氏神としての威厳を感じさせていただきます。

宮司さんによれば、神社の由緒は代々口伝によって伝承され、古文書が残っているケースは少ないそうですが、寛保二年（1742年）に著された古文書「石津大社畧記（リヤキ）」が巻物として残っているとのこと、興味がおありの方は宮司さんにお問い合わせいただければ見せていただけるかも・・・。

《写真ニュース》

* 高林家住宅主屋及び不動堂の保存修理工事の一般公開に参加して

【細谷 利晶】

昨秋「堺文化財特別公開」で公開されました重要文化財「高林家住宅」で、40年ぶりの保存修理工事が実施されています。梅がほころぶ早春2月24日に屋根の葺き替え工事が行われましたが、人数限定で一般公開されました。



葺き替えは通常20～30年スパンで実施されるのですが、高林家住宅は茅葺きの厚みが通常より厚いことと前回の施工状況が良かった為に、今回通常より長いスパンで工事が実施されました。

高林家住宅は江戸時代、大庄屋を任された家で、主屋は戦国時代の天正年間に建てられ

たと言われている日本最古参の住宅です。茅葺屋根の両端を瓦葺にした大和棟と呼ばれる珍しい屋根形式で構成されていますが、今回はこの大和棟の萱をほぼ取り外した状態で、茅葺に必要な萱や道具等実物を手にしながら、茅や屋根の骨組みについて文化庁の職員から詳しく説明して頂きました。

茅は約70cmの厚みで葺くのだそうですが、40年の経年で60cmへと10cmも痩せてしまい、このままですと雨漏りの危険が発生することから、今回葺き替え工事を行なっているそうです。

また、使える部材を極力再利用したり、茅を整える竹は虫が侵入する夏季を避け秋季～冬季に伐採したものを使用する等、重要文化財ならではの細かな気遣いが必要なようです。

この工事は来年の5月末迄行われる予定で、来夏には美しい大和棟が復活致します。



* 大仙公園いこいの広場におもてなしトイレを新設しました

3月27日（火）にオープニングセレモニーを開催しました。

平成31年度の世界文化遺産登録をめざす中、増加している国内外からの来訪者へのおもてなしのため、安全・安心・快適なトイレ「おもてなしトイレ」を整備しました。同トイレはキッズトイレや女性用パウダーコーナーがあるほか、各ブースに非常用ボタン、外部に防犯カメラ、多言語表記のサインなども設置しています。また、休憩コーナーには、堺ゆかりの注染手拭いの展示や、友好都市東吉野村産の杉を使い、市立堺高校の生徒が製作したベンチを設置しています。（堺市報道提供資料）



〈おもてなしトイレ〉

〈仁徳天皇御製の碑〉
← 〈しだれ桜〉

* 4 月度月間予定表

開始時間

場 所

2	月	理事会・運営会議	14:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
4	水	定点ガイド部A・B・Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
5	木	春季堺文化財特別公開	9:15	集合：公開各所
9	月	定点ガイド部全体会議（見学可）	9:30	堺市総合福祉会館
		「さかい利晶の杜」定例調整会議	16:00	さかい利晶の杜
10	火	研修部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
		利晶の杜・山之口商店街 調整会議	10:00	山之口商店街プラザ
12	木	ツアーガイド部会議（見学可）	13:30	堺市総合福祉会館 第5会議室
		臨時部長会	18:00	堺市総合福祉会館 4階研修室
13	金	企画部会議	10:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
15	日	＜協会ニュース5月号＞原稿締切り		
		＜広報部＞		
		総務部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
16	月	J A「CROP」取材 東区大美野	9:30	集合：南海高野線 北野田駅
		広報部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
17	火	五者懇談会	10:30	堺市役所 観光部会議室
		第11回大阪・奈良歴史街道リレーウォーク 実行委員会	13:30	五条市 藤岡家住宅
20	金	事業部会議（見学可）	14:00	山之口商店街プラザ
23	月	J A「CROP」編集会議	14:00	山之口商店街プラザ
		定例部長会議	9:30	さかい利晶の杜 2階会議室
24	火	26期生 まち歩き勉強会④	9:30	集合：千利休屋敷跡
		展望ロビー 小学生社会見学勉強会	14:00	展望ロビー
25	水	「協会ニュース5月号 印刷作業」	10:00	観ボラ・オフィス
		「協会ニュース5月号 発行作業」	10:00	観ボラ・オフィス
26	木	展望ロビー 小学生社会見学勉強会	10:00	展望ロビー
			14:00	展望ロビー
27	金	春季堺文化財特別公開 報告会	14:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
29	日	第11回大阪・奈良歴史街道リレーウォーク	9:30	集合：五條市民俗資料館
【予告】				
5月	16日（水）	「AED及び防災に関する研修」	14:00	堺市総合福祉会館
6月	6日（水）	第11回 通常総会	14:00	堺市総合福祉会館

☆平成30年 春季堺文化財特別公開の研修・ガイドリハーサル実施日 ＜全協会員対象＞

※ 事前申込みは、必要ありませんが時間厳守の上、制服・名札着用をお願いします。

＜全協会員に向けての研修・ガイドリハーサル＞				
月	日	曜	時間	場 所
3	31	土	10:00	宝珠院（集合：午前・午後も、同日同場所）
			14:00	
4	3	火	10:00	天王貯水池（集合：午前の部、天王貯水池）
			11:00	方違神社
			12:00	明治天皇玉座記念館
			14:00	（集合：午後の部、玉座記念館）
			15:00	方違神社
			16:00	天王貯水池
	4	水	13:30	本源院



平成30年 2月度 活動実績と内容

＜会員の活動実績＞

正 会 員 数	244 名
当 月 全 休 会 員 数	15 名
会 員 活 動 参 加 数	229 名

定点案内所	定 点 案 内 所	904 名
	事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	179 名
	展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	2 名
ガ イ ド 活 動 小 計		1,085 名
ツ ア ー ガ イ ド		157 名
その他	会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	94 名
	イ ベ ン ト	92 名
	打 合 せ ほ か	325 名
会 員 活 動 合 計		1,753 名

月/日	主 な 活 動 内 容	活 動 人 員
2/5	運営会議 於：総合福祉会館	25 名
6・7	H30年度予算(案)の各部ヒアリング	28 名
13・25	協会の部長会議（正副理事長と各部長）	20 名
15	「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産国内推薦記念」 公開講演会・シンポジウムの開催 於：総合福祉会館 （一般の参加者：211名）	92 名
20	五者懇談会 於：市役所	10 名
24	ドライバー対象のタクシー観光の研修 （ドライバーの参加者：35名）	9 名
27	阪堺線勉強会	24 名

＜来客数実績＞

定 点 案 内 所 ガ イ ド	(件数)
-----------------	------

堺 駅 観 光 案 内 所	62 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー	
一 般	1,977 名
学 童 ・ 先 生	29 名
大 仙 拝 所 前	2,799 名
南 宗 寺	563 名
山 口 家	858 名
清 学 院	212 名
利 休 屋 敷 跡	1,850 名
妙 國 寺	765 名
自 転 車 博 物 館	233 名
伝 統 産 業 会 館	844 名
利 晶 の 杜	1,908 名

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	1,863 名
-----------------	---------

ミニ ツアー ガイド	堺 駅 観 光 案 内 所	7 名
	市 役 所 展 望 ロ ビ ー	6 名
	大 仙 公 園 観 光 案 内 所	63 名

特 別 公 開 な ど

公 開 講 演 会	211 名
-----------	-------

来 客 数 合 計	14,250 名
-----------	----------

当協会の創設（平成7年4月） 以来の御案内人数累計	2,021 千名
------------------------------	----------



晶子桜(利晶の杜にて)



【編集後記】

このニュースが皆様に届くころには、きっと桜が満開で、春の陽気に包まれている頃だろうと思います。春季文化財特別公開も「明治150年！サクラ咲く堺を満喫」というテーマで4月5日から始まり、たくさんのお客様が桜に誘われて来て下さるとうれしいなと思っています。

広報部も日々進化し、ニュースの伝え方も変わっていく事と思います。また、広報活動に興味のある方は、ぜひ見学に来てください。私も黄色の制服に元気をもらって楽しく活動していこうと思っています。一緒に頑張りましょう。

北野しどり 記